

水稻の生育状況と今後の管理対策（第6号）

令和8年7月22日
新潟県農林水産部

- ◎ コシヒカリの生育は早まっており、5月中旬までに植えたほ場では、出穂期が7月下旬頃になる見込みです。
- ◎ コシヒカリでは後期栄養を維持するため、穂肥^{*1}診断に基づき、必要量の穂肥を確実に施用しましょう。
- ◎ 斑点米カメムシ類の被害を抑えるため、雑草管理及び適期の薬剤防除を確実に実施しましょう。

^{*1} 穂肥（ほごえ）：穂が出る前に追肥すること

〔7月21日現在の県内全域の生育概況〕

【指標値（生育のめやす）に比べた生育状況】

- コシヒカリ：草丈「長い」、茎数「並」、葉数の進み「早い」、葉色「並」
- 新之助：草丈「やや長い」、茎数「並」、葉数の進み「やや早い」、葉色「並」

〔気象予報と今後の生育見込み〕

- 7月21日発表の早期天候情報によると、北陸地方では、7月29日頃からの高温が予想されています。
- コシヒカリの生育は早まっており、特に5月中旬までに植えたほ場では、出穂期が7月下旬頃になる見込みです。

〔今後の管理対策のポイント〕

穂肥施用

＜コシヒカリ＞

- 後期栄養を維持するため、必要量の穂肥を施用しましょう。出穂期10日前以降の穂肥は、茎の伸びには影響しません。
- 分施体系
 - ・ 2回目の穂肥（出穂期10日前）は必ず施用してください。特に葉色が淡いほ場では、穂肥診断を行ったうえで、葉色に応じて施用量を増やしましょう（施用量の考え方は補足資料を参照）。
 - ・ 2回目穂肥を施用した後も葉色が淡い場合は、追加の穂肥を出穂期3日前（走り穂が見え始めた頃）までに施用してください。

出穂期3日前頃の追加穂肥の判断基準と施用めやす（分施体系、登熟期高温予報）

栽培体系	使用肥料	判断基準		穂肥めやす	
		判断時期	葉色 (SPAD 値)	施用時期	施肥量 (窒素 kg/10a)
化学肥料 体系	化学肥料	出穂期3日前	31 以下	出穂期3日前	1（上限）
減化学肥料 栽培	有機質 50%肥料	出穂期6日前	33 以下	出穂期3日前	1（めやす）
	有機質 100%肥料			出穂期6～3日前	

○ 全量基肥施肥^{*2} 体系

穂肥診断を行い、葉色が指標値よりも淡く、急激に低下している場合には、出穂期の3日前までに追加の穂肥を施用してください。

<新之助>

- 分施肥体系の1回目穂肥（出穂期21～18日前）は、適正量の穂肥を確実に施用してください。葉色が淡い場合は、早めに施用しましょう。

水管理

- 根が養水分を吸収しやすい状態を維持するため、飽水管理^{*3}を出穂期25日後まで継続しましょう。
- 用水が地域全体に行き渡るよう、ほ場全体に水が行き渡ったら速やかに水口を止めましょう。

病虫害防除

- いもち病に弱い品種でいもち病の発生を確認した場合は、生育時期に応じて、葉いもちあるいは穂いもちの予防防除をしてください。
- 斑点米カメムシ類の被害を防ぐため、畦畔・農道等や水田内の雑草管理を確実に実施するとともに、出穂期を把握し、適期に薬剤防除を行いましょう。

*2 全量基肥施肥：全生育期間に必要な肥料成分を、田植え前または田植え時に一括して施す施肥法のこと

*3 飽水管理（ほうすいかんり）：土壌を湿潤状態に保つこと

コシヒカリの穂肥診断と穂肥施用のタイミング

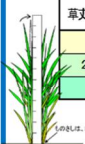
分施肥体系

◆ 1回目

（出穂期18～15日前）

幼穂形成期に生育調査をして**診断**する

幼穂形成期の 草丈(cm)×葉色(SPAD値)	幼穂伸長期間の気象予報		
	低温・少雨・多雨	平年並	高温・多雨・少雨
2500未満	○△	◎	◎
2500～2800未満	×	×	○
2800以上	×	×	×△

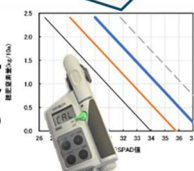


（葉色が淡ければ**増肥**もあり）

◆ 2回目

（出穂期10日前頃）

予測出穂期の10日前頃
葉色を測定して**診断**する



全量基肥施肥体系

化学肥料100%

有機50%入り肥料

◆ 穂肥の**不足分**を
追加する

◆ 出穂期3日前まで

登熟期間の高温が予想され葉色が淡い場合（葉色を測定して**診断**する）

分施肥体系

（出穂期6～3日前）

※3回目穂肥に相当

全量基肥施肥体系

（出穂期10～5日前頃）

肥料の種類と葉色
により**診断**し追加



熱中症予防

- 気温が高く、特に湿度が高い場合は熱中症発生のリスクが高まります。
- 農作業中は、定期的に水分・塩分を補給し、帽子等で直射日光をさえぎるほか、暑さ対策用品を活用して身体を冷やすなどの熱中症予防対策を必ず行いましょう。
- 気温の高い時間帯に作業しない、単独で作業しない、休憩はこまめにとるなど、十分配慮してください。
- 1人で作業されている方に対しては、周囲からの積極的な声掛けをお願いします。

農作業中の熱中症を予防しましょう!!

暑さを避ける

高温時の作業は極力避け、日陰や風通しのよい場所で作業



こまめな休憩と水分補給

喉の渇きを感じる前に、こまめに水分・塩分を補給



単独作業は避ける

複数名で作業を行う、時間を決めて連絡をとり合う



熱中症対策アイテムの活用

帽子や吸湿速乾性の衣服の着用、空調服や送風機の活用



7月～9月は“夏の熱中症等対策声かけ期間”

キャッチフレーズ:いのちをうばう、夏のひとり作業



農作業中の熱中症死亡事故の多くは1人作業で発生しています。

大切な人の命を守るため、
家族や地域で声をかけあいましょう!

出典：農林水産省「熱中症対策パンフレット」より

○ 今後の管理対策発信予定日 7月28日・31日、8月20日

〔補足資料〕

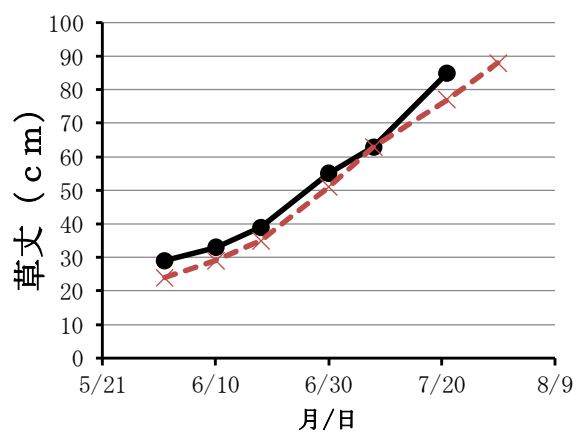
1 農業普及指導センター及び作物研究センターの生育状況（7月21日現在）

コシヒカリ

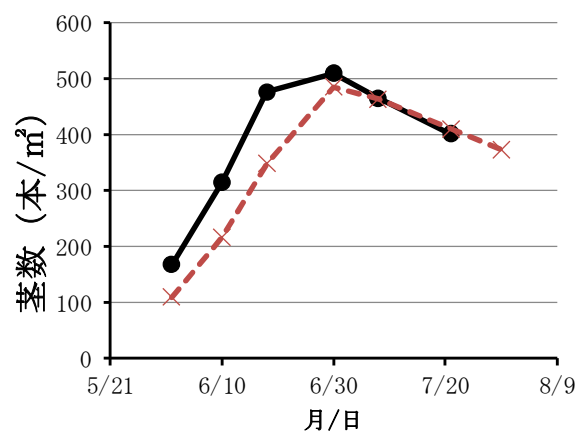
指標値（生育のめやす）に比べ、草丈は「長い」、茎数は「並」、葉数の進みは「早い」及び葉色は「並」です。

項目	本年値	指標値 (県平均)	指標値 との比較	指標値比・差
草丈	85 cm	77 cm	長い	110%
茎数	401 本/㎡	410 本/㎡	並	98%
葉数	12.8 葉	12.0 葉	早い	+0.8 葉
葉色 (SPAD 値)	34.0	33.1	並	+0.9

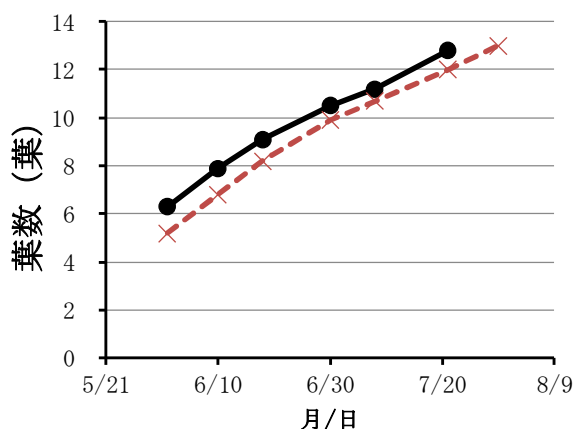
注) 県内全域の14生育調査はデータの平均値（田植え5月11日、栽植密度16.9株/㎡）



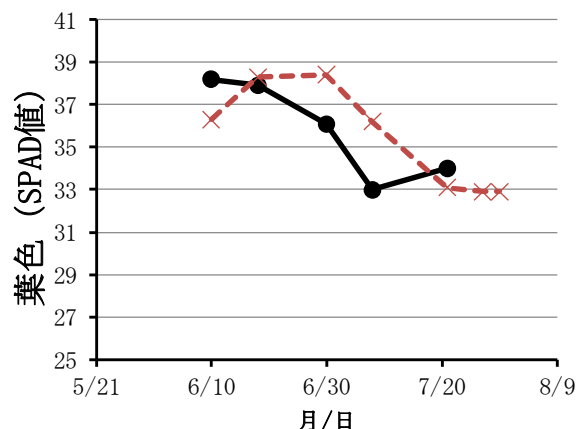
● 本年値 -x- 指標値
草丈の推移
(県全体)



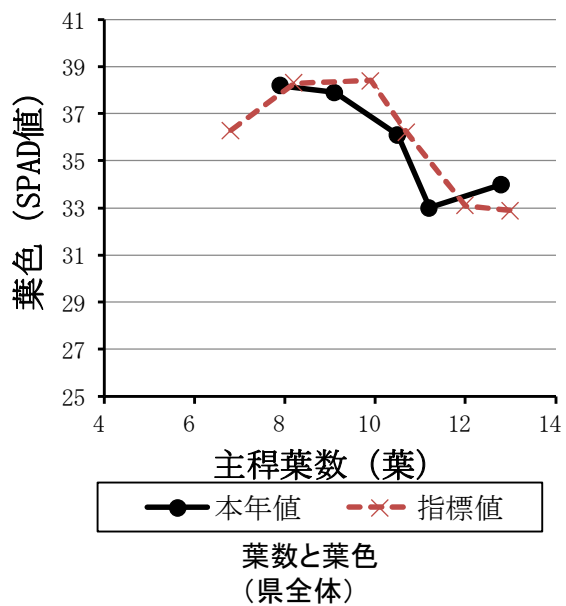
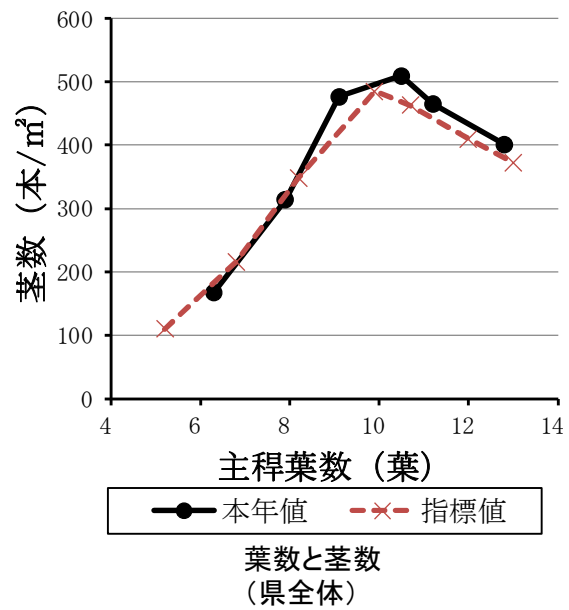
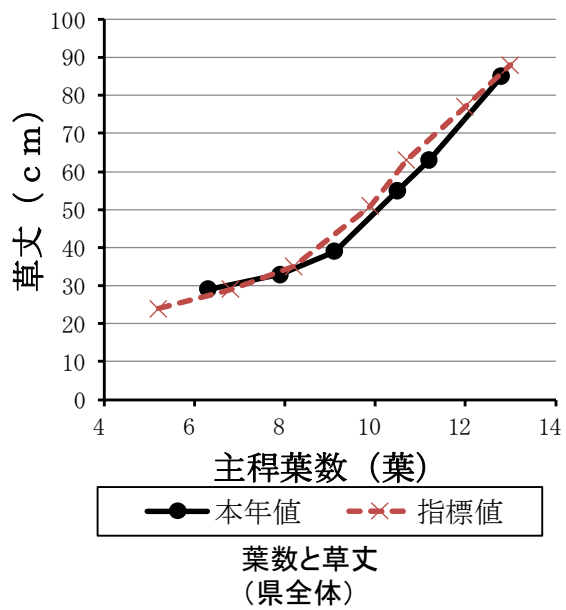
● 本年値 -x- 指標値
茎数の推移
(県全体)



● 本年値 -x- 指標値
葉数の推移
(県全体)



● 本年値 -x- 指標値
葉色の推移
(県全体)

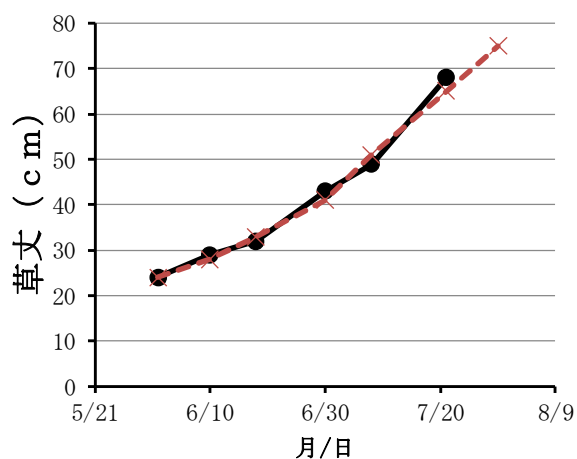


新 之 助

指標値（生育のめやす）に比べ、草丈は「やや長い」、茎数は「並」、葉数の進みは「やや早い」及び葉色は「並」です。

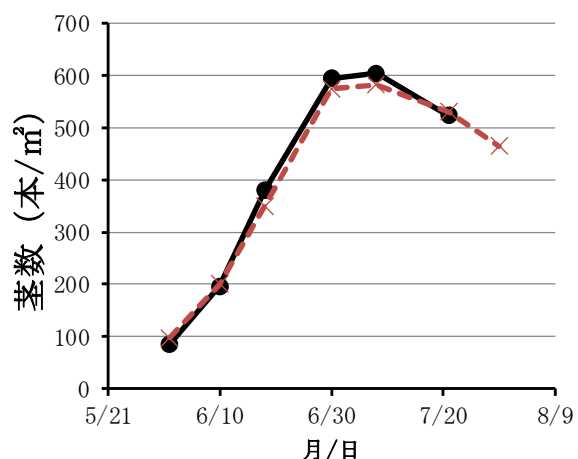
項目	本年値	指標値	指標値との比較	指標値比・差
草丈	68 cm	65 cm	やや長い	105%
茎数	523 本/㎡	530 本/㎡	並	99%
葉数	12.9 葉	12.3 葉	やや早い	+0.6 葉
葉色 (SPAD 値)	34.6	34.2	並	+0.4

注) 県内全域の14生育調査はデータの平均値(田植え5月19日、栽植密度16.1株/㎡)



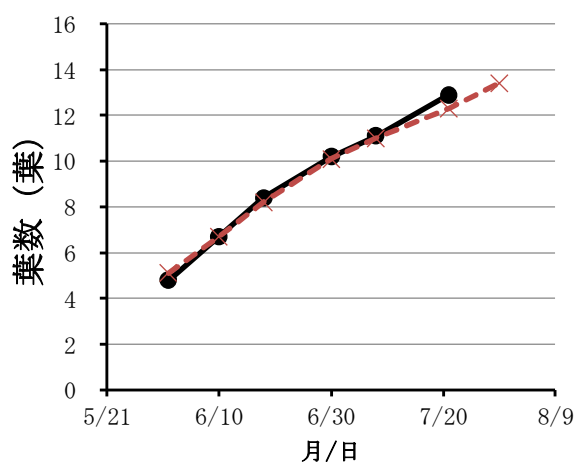
● 本年値 × 指標値

草丈の推移
(県全体)



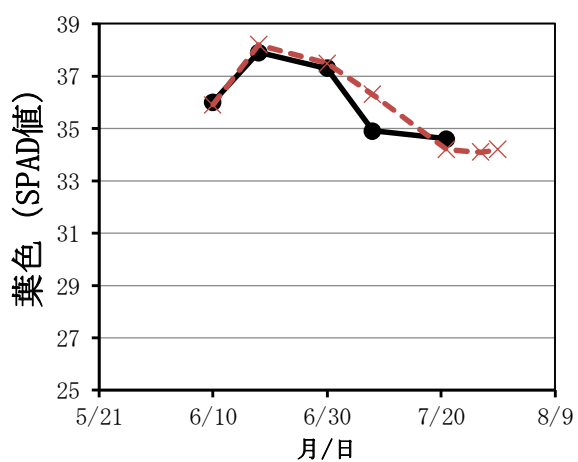
● 本年値 × 指標値

茎数の推移
(県全体)



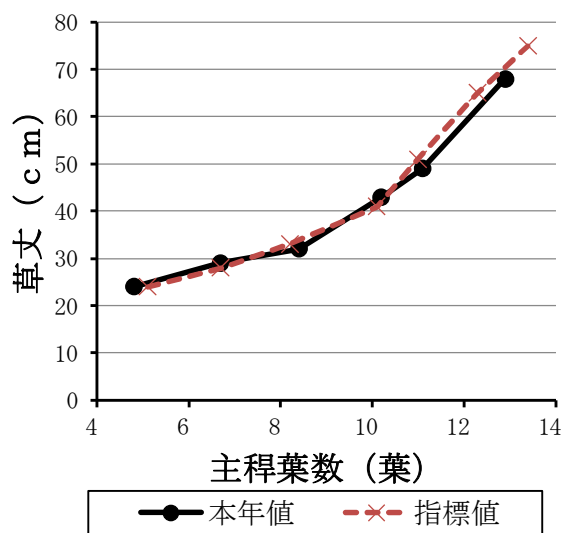
● 本年値 × 指標値

葉数の推移
(県全体)

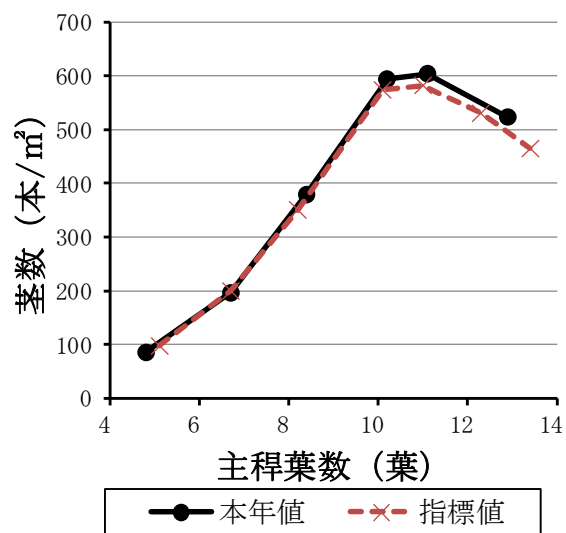


● 本年値 × 指標値

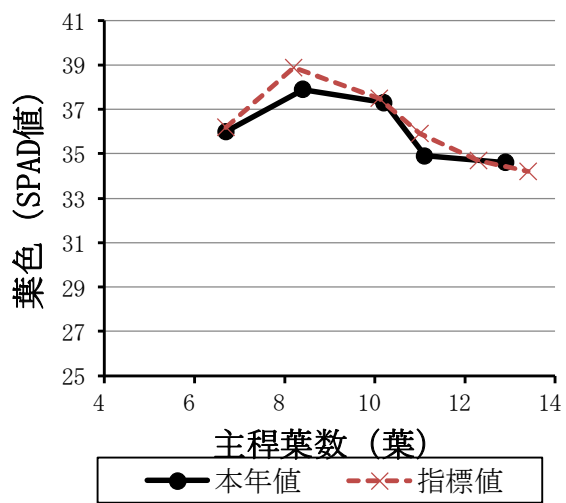
葉色の推移
(県全体)



葉数と草丈
(県全体)



葉数と茎数
(県全体)



葉数と葉色
(県全体)

こしいぶき (参考)

指標値（生育のめやす）に比べ、草丈は「並」、茎数は「少ない」、葉数の進みは「やや遅い」及び葉色は「並」です。

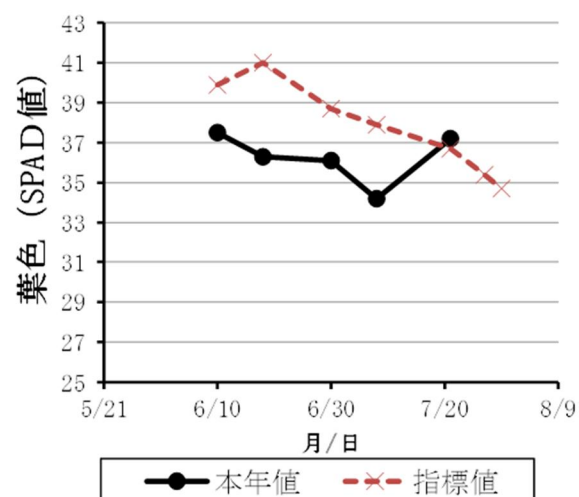
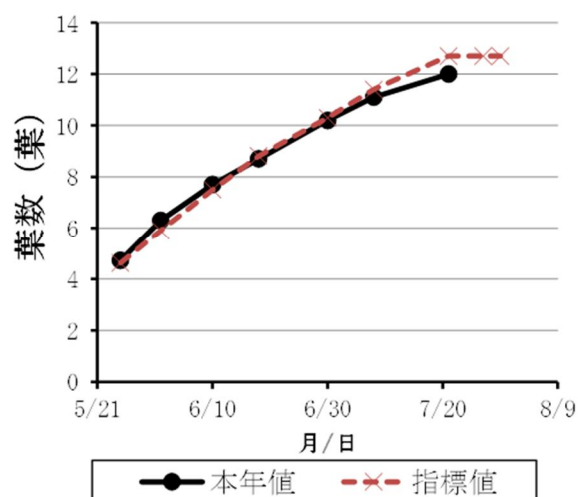
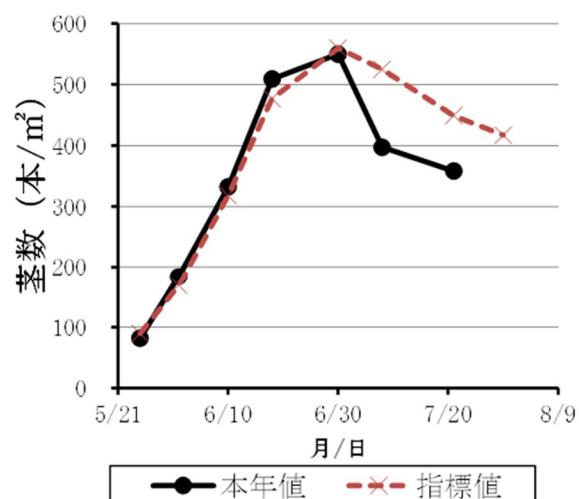
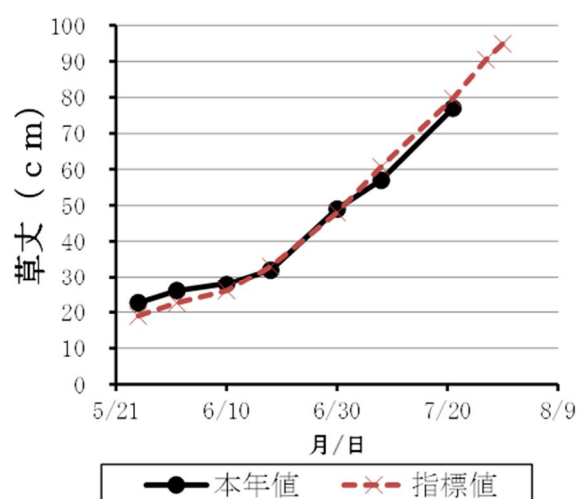
項目	本年値	指標値	指標値との比較	指標値比・差
草丈	77 cm	80 cm	並	97%
茎数	358 本/m ²	449 本/m ²	少ない	80%
葉数	12.0 葉	12.7 葉	やや遅い	-0.7 葉
葉色 (SPAD 値)	37.2	36.7	並	0.5

注1) 化学肥料栽培。田植え 5 月 11 日、栽植密度 20.5 株/m²

注2) 基肥窒素成分量 3.0kg/10a、穂肥窒素成分量 3.0kg/10a (1.5 kg×2 回分施：1 回目 7 月 3 日、2 回目 7 月 10 日)

注3) 幼穂形成期：7 月 3 日、出穂期：7 月 21 日

注4) 長岡市長倉町（作物研究センター）の生育調査ほデータ



2 出穂期の目標 SPAD 値に誘導するためのコシヒカリの 2 回目穂肥診断

登熟期間が高温になっても後期栄養を維持するため、分施体系 2 回目穂肥も穂肥診断を行います。穂肥診断により診断量が計画量よりも多く必要となったら、増肥しましょう。診断量が計画量よりも少ない場合は、計画量を施用しましょう。

2 回目穂肥診断方法

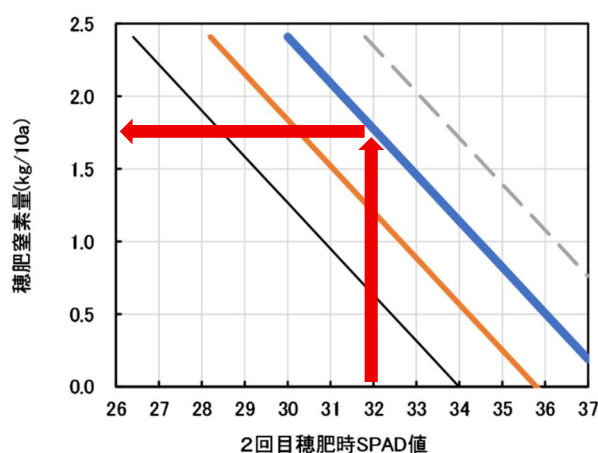
- 1 2 回目穂肥時期（予想出穂期 10 日前）に葉色（SPAD）を測定する。



- 2 下記図 1 より、出穂期の SPAD 値が 32～34 となるように、2 回目穂肥時期 SPAD 値から穂肥窒素量を読み取る。



- 3 診断結果 > 計画量 → 診断結果量を施用
診断結果 < 計画量 → 計画量を施用



出穂期の
目標SPAD値
— 32
— 33
— 34
— 35



高温予想だけど、
肥料は何キロ
くれたらいい？

今年の夏は暑くな
りそうだから目標
SPAD 値は 34 に
しよう

- ・ 出穂期の目標 SPAD 値：34
 - ・ 2 回目の穂肥時の SPAD 値：32
- ⇒ **穂肥窒素：約 1.8kg/10a**

図 1 出穂期の目標 SPAD 値に対応した 2 回目穂肥における SPAD 値と穂肥窒素量の関係

注 重回帰式 $Y = 1.749 \times X_1 + 0.555 \times X_2 + 13.134$ ($R^2 = 0.669$)、Y: 出穂期葉色 (SPAD 値)、X1: 2 回目穂肥窒素量 (kg/10a)、X2: 2 回目穂肥施用時の葉色 (SPAD 値)。

飽水管理のイメージ

